

グラウンドワークとは.....

市民・企業・行政がパートナーシップをとりながら、地域の環境改善などを行う活動です。あなたもぜひ活動にご参加ください。  
(文中グラウンドワークをGWと表記することがあります。)

## 往来盛んな「日韓バイカモ交流 in 2008」

夏に韓国の小学生や江華島の市民ら26名の訪問団が来訪し、交流を深めた。日韓文化交流基金助成事業として11月1日~3日は日本から小学生や大学生、GW三島関係者16名が訪韓し、韓国の方々と、韓国のバイカモ保護活動に汗を流した。

また、その時、韓国の大学生とも交流し、11月22日~25日は、韓国の大学生と韓国ナショナルトラスト関係者6名が来訪し、同じく、ミシマバイカモの環境の保護活動等に参加した。



春にバイカモの花が咲く韓国の田んぼで作業



### 三島梅花藻の里でのミシマバイカモ観察

ミシマバイカモは可憐に咲き、足元のパイプからは幾筋もの湧水が噴水状に流れ込み、水の中に新鮮な酸素を豊富に送り込んでいます。

可憐な水中花ミシマバイカモは、環境を大切にしている多くの人々の思いを代弁し、環境保護大使の役も果たしているようだ。また、日韓のホストファミリーは両国の文化交流にも寄与し、双方のゲストたちより心から感謝の言葉が寄せられた。

(関連記事は、P2)

## 深まる、広がる！「日英若者交流 in 2008」

秋にはGW三島主催事業で日本の大学生ら8名が訪英し、英国の若者との共同体験から多くを学んだ。12月13日~18日には、英国GWブラックカントリー関係の若者7名が訪日。

一行は、日本の大学生との交流を深め、GW三島の実践地視察や富士山自然観察会、ボランティア活動等を体験し、念願だったホームステイも、温かなホストファミリーの協力で実現。世代を超えた交流

は、今後の活動への大きなエネルギーになると期待されている。

(関連記事は、P2)



富士山自然観察会



沢地グローバルガーデンのバーミンガムの丘にムクノキを植樹

## 「許すな！中郷温水池のホテイアオイ被害」

農業用のため池で、「逆さ富士」の絶景ポイントでもある中郷温水池(約1.2ha)を夏にホテイアオイが大繁殖して水面を覆い尽くしてしまった。環境被害を懸念したGW三島では、\*地域住民や行政と協力して、10月から12月にかけて大規模なホテイアオイ除去作業を行った。三島市からは「除去作業は年末までに終了し、来年度以降ホテイアオイの増殖を防ぐために見回り体制強化の方針」との報告があった。

大繁殖した要因は、ホテイアオイが持ち込まれたり、流れ込む湧水の減少と夏場の水温の上昇であるとも言われている。



除去作業中

### 【ホテイアオイ】

単子葉植物ミズアオイ科に属する水草の外来種で繁殖力旺盛。水面を覆い尽くすと水鳥、他の水草、水生昆虫の成育をも妨げる。冬場には枯死し湖底に沈下し水質悪化を招く。

\*地域住民：中郷用水土地改良区、中郷地区部農会、富田町自治会、静岡県立三島南高校サイエンス部生徒、三島市立南、西、北の各小学校児童、南中学校の生徒、南小学校PTA、三島青年会議所、行政：三島市役所、三島市消防署

## 松毛川河畔林観察会

10月25日、松毛川で手漕ぎゴムボートに乗って、河畔林の自然を学ぶ観察会が開かれ、親子15名が参加した。川まで枝をのばしたエノキなどの下をくぐりながら、多くの樹木や虫や鳥などを観察。GW三島のリバーインストラクターの鈴木正之さんから、木の種類や場所により水の色が異なることなどの説明を受けた。時折カワセミが飛び交う豊かな自然に感動した。

子どもは「カメがいたり、木の根が見えたり楽しかった」「鳥の鳴き声や風の音などが良く聞こえた」と感想を述べた。



## 「松毛川 緑をふやそう！ワンデイチャレンジ」

(イオン環境財団助成事業)

松毛川は、上中流部に狩野川原風景である河畔林が残っている。自然的資源だけでなく、地域の歴史的資源として次世代に残していくべき「地域の宝物」で、貴重な自然環境だ。

12月7日、地元自治会、大学生、インストラクター、GW三島スタッフなど約30名がワンデイチャレンジに参加。河畔林の潜在自然植生から選定したエノキ、ムクノキ、ケヤキなど14種292本の苗木を準備。午前中は、前年の植林木確認、支柱の取り付け、追加の植林を行い、午後は、新たな場所への植林を行った。作業終了後にはボートからの河畔林の観察も行い、松毛川に残る河畔林の貴重性・重要性を実感した。



植林作業

## 韓国大学生訪日

韓国の大学生らは、3泊4日の日本滞在中、環境やまちづくりに関心のある日本人大学生と交流し、GW三島の実践地視察と環境ボランティア活動等へ参加し、ホームステイなどで日本文化にふれる機会も得た。

2日目は、富士山の眺望も素晴らしい「みどり野ふれあいの園」や源兵衛川の視察。龍澤寺観楓祭の見学や、韓国と縁のある楽寿園



富士山を背景に「みどり野ふれあいの園」にて

で菊まつりを楽しみ、夕方は「バイリンガル環境かるた」で盛り上がり、その後ホストファミリーとの和やかな交流会に参加。



御殿川での清掃活動には小学生も参加

さんから苦労話などを聞き、ミシマバイカモへの関心を示した。午後は、せせらぎシニア元気工房で、間伐竹を使ってのしゃもじ作りを体験した。

滞在中は、11月に訪韓した大学生や小学生たちとも交流。帰国後すぐに、韓国の大学生たちからは、写真付きEメールで、感激の礼状が寄せられた。

3日目の午前中は、長靴を履き、御殿川や源兵衛川で環境保全活動を行い、自発的にミシマバイカモの世話をしている山口東司



ミシマバイカモ談義にも花

## 英国GWブラックカントリーの若者来訪

「若者支援におけるNPOの役割に係る英国からの学びの事業（大和日英基金助成事業）」により、英国GWブラックカントリーの若者が来訪。GW三島の実践地視察や環境保護活動等に参加し、ホームステイも経験。訪英の日本人大学生とも再会し、日英双方にとって実り多い研修だった。



冬の境川・清住緑地で



「バイリンガル環境かるた」の初体験は新鮮！

一行は、三島市長や三島市国際交流協会を表敬訪問、沢地グローバルガーデンで記念植樹やレンゲソウの種まき、源兵衛川でちゃんかけ拾い体験、富士山の自然散策、「バイリンガル環境かるた」体験等、豊富な内容の滞在となった。

また、意見交換の際、「三島は、ゴミ1つ落ちていない美しいまち。地域の人々が、まちを大切に思い、文化を守ろうとしている姿勢に感心した」「今後、日英の若者が、それぞれの国の文化を体験しながら、GWの手法を学べる協働型のインターンシップ制度ができたらいい」等と語り、今後の活動に期待がふくらむ有意義な交流となった。

## 源兵衛川にアスファルトくず流出

12月5日朝、県道舗装に伴う、三島市発注の上水道マンホールかさあげ工事で生じたアスファルトくずが、源兵衛川に流出した。川は白濁したが、水質や生物への影響は確認されなかった。市水道部は工事の際、川に流れ込まないための対策を、業者に指導しなかったと話している。

源兵衛川では一昨年12月に生コンが流出し、生態系が大打撃を受けた。今回の流出は一昨年の事故に伴う環境モニタリング調査中に発見された。GW三島では、一昨年の事故の教訓が生かされていないとして、河川に隣接した工事で、環境への影響が危惧される場合は、積極的に情報公開することを市に要望していきたいとしている。



土のうを積み、除去作業

## 鎮守の森探検隊

### ネイチャーゲームと「鎮守の森」観察

11月1日、山田川上流の里山で自然を楽しむネイチャーゲームと樹木観察を行った。講師に、山口康裕さん(天城のブナと語る会会長)、田所雅子さん(天城子どもネットワーク代表)を迎え、参加者16名は「見る」「触る」「聞く」だけではなく、「におい」「味」といった五感を使って秋の自然を思いきり楽しんだ。



11月8日には雨天の中、講師の菅原久夫さん(富士常葉大学非常勤講師、富士山自然誌研究会代表)、加須屋真さん(富士常葉大学非常勤講師、日本蜻蛉学会会員)の案内により、三嶋大社の森の樹木や生きもの観察が行われた。参加者8名はクスノキとその葉特有の「ダニ室」を観察した。

## 「平成20年度 富士山湧水インストラクター実践講座」実施

富士山周辺の湧水池等の実態調査進行役や、環境教育の実践者の役割を担う人材育成のための「富士山湧水インストラクター実践講座」が、9月から12月まで全9回開講された。講座受講生(延べ約150人)には修了後、小中学校での出前講座や、「富士山湧水子ども守り隊」の講師として、湧水調査や環境保全活動の展開に携わってもらう。



第1回「水の山・富士山の魅力とは」	GW三島事務局長	渡辺 豊博
第2回「富士山でのエコツアーとは」	富士山エコネット理事長	三木 廣
第3回「水の山・富士山のメカニズムとは」	静岡大学名誉教授	土 隆一
第4回「富士山の森と植生とは」	富士山自然誌研究会	菅原 久夫
第5回「火山としての富士山」	静岡大学教育学部教授	小山 真人
第6回「富士山から地球温暖化を学ぶ」	静岡大学理学部教授	増澤 武弘
第7回「山梨県桂川の湧水」	GW三島チーフインストラクター	島崎 禮次
第8回「御殿場・小山のまほろしの湧水めぐり」	同上	同上
第9回「実践講座まとめ」	GW三島事務局長	渡辺 豊博

## エコプロダクツ 2008

12月11日～13日、東京ビッグサイトに於いて、日本最大級の環境展示会である「エコプロダクツ 2008」が行われ、環境NPOや環境関連企業への就職を目指す学生や、環境ボランティアをしたいという社会人など3日間で17万人の来訪者があった。

GW三島は「環境ビジネス就職コーナー」のブースに出展し、環境NPOとして団体の概要説明を行い、地域のボランティア活動に参加する方法、環境NPOの仕事全般についての質問に答えた。来訪者からは、GW三島の実践地見学やNPOの財政状況、NPOの採用状況等、熱心な声



説明中のGW職員

が尽きなかった。

## フィリピン政府

### 環境天然資源省関係者らが視察

フィリピンから、JICA(独立行政法人国際協力機構)森林プロジェクトの研修生等6名が10月17日に来訪。

午前中はGW三島の実践地を熱心に視察。午後は、三島市役所職員から湧水保全事業等についてパワーポイントによる説明を受けた。「フィリピンでも、水の都・三島の市民、行政の様々な取り組みを参考にしたい」と感激して語っていた。



GW三島事務局にも立ち寄って

## Smileスマイル

## インストラクター 随所で活躍

たむらかずゆき  
田村和幸さん



東京都渋谷区に生まれ、千葉県に疎開し、世田谷区で成人。神奈川県

の電気機器の会社に就職し、コンピューター、パソコン等の設計開発に従事。沼津の新工場に転勤し、三島市芙蓉台に居を構えるが、8年前までは単身赴任の連続だった。家族全員気候温暖・山紫水明と三島を褒め称え、永住の思い入れは強かった。

GW三島との関わりは、インストラクター養成講座を受講してから。既に様々なボランティア団体に所属し、いずれも核となってエネルギー活動を展開していた。本人曰く「現役時代のパターンを崩さないのが老化防止だと、手当たり次第に全方位型活動を模索」。

本人は謙遜しているが、何事も中途半端は許さずきちんとやり遂げ、他人の話も良く聞く優しさを持ち合わせている。

すがのきよこ  
菅野京子さん



横浜に生まれ、小中学校時代は静岡市清水区で育つ。県東部の私鉄会社に就職後、結婚を機に三島に住むようになって41年。三島

大好き人間で、三島をほぼ知り尽くした自称「準三島っ子」。

GW三島との関わりは、3つのインストラクター養成講座を受講してから。所属している「三島市ふるさとガイドの会」での観光ガイドに役立てば、との思いからであった。

GW三島では、人生経験と観光ガイドとしての思いやりの心を随所に発揮している。視察対応を引き受けたときはコースを事前に回ったり、交流会では創意工夫をした手料理の差し入れをするなど、「一期一会」の出会いを大切にしている。

「1人ではできないことも、みんなでチャレンジすれば、“Yes, we can”」とにっこり。

## パッション

## 地域で守り 地域で育てる ピオトープ



ピオトープでの稲刈り

境川・清住緑地を地域で守りたいとの思いから「境川・清住緑地愛護会」が誕生。緑地は0.8haの湿地で、貴重なハンノキなどの樹木が群生し、野鳥やトンボが飛び交う。ミシマバイカモも生育し、三島市立西小学校のピオトープにもなっている。

定例整備作業のほか、児童や地域の人々と田植え、稲刈り、収穫祭を行い搗(つ)き立ての餅を味わった。また、野鳥観察やトンボで有名な桶ヶ谷沼へのバスツアー、韓国へのバイカモツアーなども行った。これからも楽しい活動を計画していく予定。

境川・清住緑地愛護会 会長 高橋 敬

昭和十八年四月、私たちが沼津中学へ入学。学区制も共学もなかった頃、三島つ子にとつて中学は沼津か葦山。この年三島から三十数名が沼中へ。沼中百年の歴史の中で、後年異彩を放つ連中がそろつた中学最後、高校一回の四十四期生、文化勲章に輝く大岡信、三共社長高藤鉄雄、アサヒ飲料社長佐野主税(以上三島出身)、ソニー社長大賀典雄、東京銀行副頭取から米國で、二のチエアマンを勤めた山口保、雪印社長片山純男(故人)、清水建設副社長福田守弘、南極越冬隊長星合孝男、県医師会会長岡田幹夫、マキヤ社長矢部利治(故人)、同窓で戦後初の弁護士市来俊郎(故人)、明治大学学長山田雄一をはじめとする大学教授十数名、その他上場会社役員多数。思い返しても頼もしい同級生たち。更に、小笠原野生生物研究会理事長安井隆弥も朋友の一人だ。

山口保が「文芸春秋」の「同級生交歓」を依頼されたの井上文学館に集まつたのも先の六名。同じグラビアをめくると上野高校の部

(敬称略)

シリーズ  
三島源人

5

沼津中学の頃

なかがわ  
中川 和郎

GW三島副理事長

部に疎開生で同級の戸田建設の森田重人が掲載に。

中学二年生になると援農や植林作業に狩り出され、

年が変わり二十年の初め、突然地区別にまとめられ軍需工場へと動員される。人

生には予期せぬ別離があることを知った。男にとつて

財産は友人であり人脈だと思

い始めたのもその頃だ。そして敗戦。歴史的な変転

の中で人生の入り口に立た

され、凄まじい混乱を余儀

なくされた私たちだ。た

その為だろ。何かと口実を

作つては、当時の仲間を集

まりその絆をたしかめあつ

ている。

三島市の「せせらぎ大使」

の選考委員に加わつて一度

だけ出席。高藤、佐野に次

いで、大岡と一級下の防衛

医大学長間宮群二を選んだ

時だ。隣りにいた委員に、大

岡さんは三島とどうい

う関係なんですか？」と尋ね

られたのは忘れられない。

沼津中学での先輩、同

輩、後輩との様々な出会い

は、私にしみじみと一期一

会を覚えてくれた、将に揺

籃の庭そのものであつた。

## GW三島で活動の インターンシップ



半田紳一郎さん 11/10~21  
(静岡県東部農林事務所)  
全土連研修、ホテアオイ  
除去作業、そばづくり隊他

森勇介さん 11/14~27  
(志太榛原農林事務所)  
全土連研修、ホテアオイ  
除去作業、そばづくり隊他



## 三島そば便り



1月10日、Via701で三島そばのお披露目試食会が開かれた。GW三島そばづくり隊のメンバーらが取れたてのそば粉を使ってそば打ちを行い、せせらぎシニア元気工房のメンバーなど約40名が、香り高いそばを三島茶碗のそば猪口で味わった。

栽培5年目で台風被害もなく、そばは順調に生育。三島市内箱根西麓にある2,000㎡の畑から、約160kgを収穫した。そばは既に、三島市内の飲食店などに納入されている。

## ベトナムのハノイから 下水排水公社職員ら視察



千葉県庁職員とベトナム人ら6人が、11月22日にGW三島を視察した。来日3日目の一行は、源兵衛川の清流の美しさに驚き、思わず水をすくって口に含む者もいたほど。

カワセミに幾度も遭遇し、清流を泳ぐアブラハヤなどにも関心を寄せ、その後2週間余の日本滞在中に、三島での好印象を、各地で何度も語ったそうである。午後は温泉体験もして、ご満悦だったとのこと。

## GW三島で職業体験

鈴木幹久さん、相原流星さん 12/1~3  
(三島市立南中学校2年生)  
三島梅花藻の里、大根収穫作業他



おめでとう!

静岡新聞社主催 静岡県教育委員会共催  
小中学生対象の県内最大の美術・書写展  
第30回 ジュニア県展 県知事賞受賞  
「せせらぎの源兵衛川」(水彩画)  
三島市立北上中3年生 上杉里穂さん



## GW三島活動記録 2008年10月16日 2009年1月15日

月	日	曜	事業名	内容	場所	人数
10	18	土	環境わくわく子ども探検隊	稲刈り	境川・清住緑地	30
10	19	日	富士山湧水インストラクター実践講座	富士山でのエコツアーとは	三島市民活動センター	14
10	21	火	富士山湧水インストラクター実践講座	水の山・富士山のメカニズムとは	Via701	16
10	25	土	松毛川自然環境再生プロジェクト	ボートに乗って森を見よう!	松毛川	19
10	28	火	富士山湧水インストラクター実践講座	「富士山の森と植生とは」	Via701	11
11	1	土	日韓バイカモ交流	韓国スタディーツアー	韓国・江華島	16
			そばづくり隊	第1回三島そばの収穫・脱穀作業	三ツ谷そば畑	18
			鎮守の森探検隊	きみも樹木博士になろう	山田川流域	16
11	4	火	富士山湧水インストラクター実践講座	火山としての富士山	Via701	18
11	8	土	中郷温水池整備作業	第2回ホテアオイ掃討大作戦	中郷温水池	15
			鎮守の森探検隊	街なかにある鎮守の森を訪ねてみよう	三嶋大社	8
11	9	日	そばづくり隊	第2回三島そばの収穫・脱穀作業	三ツ谷そば畑	8
			富士山湧水インストラクター実践講座	富士山から地球温暖化を学ぶ	Via701	18
11	11	火	そばづくり隊	第1回~3回(12日、14日)三島そばの脱穀作業	三ツ谷そば畑	21
11	15	土	中郷温水池整備作業	第3回ホテアオイ掃討大作戦	中郷温水池	8
11	16	日	富士山湧水インストラクター実践講座	現地研修「山梨県桂川沿いの湧水」	山梨県	18
11	18	火	GW全国研修センター	全国土地改良事業団体連合会(全土連)研修	三島市民文化会館	30
11	22	土	日韓バイカモ交流	韓国の大学生が来日	三島市他	13
11	30	日	富士山湧水インストラクター実践講座	現地研修「御殿場・小山の幻の湧水巡り」	御殿場市、小山町	20
12	6	土	環境わくわく子ども探検隊	境川・清住緑地の野鳥観察と水質調査	境川・清住緑地	36
12	7	日	松毛川自然環境再生プロジェクト	緑をふやそう! ワンデイチャレンジ	松毛川	20
12	13	土	日英若者交流	英国GWブラックカントリーより若者が来日	東京・三島等	28
12	20	土	バイオトイレの不思議?	バイオ博士と一緒にその仕組みを体験しよう!	三島市民活動センター	10
12	21	日	富士山湧水インストラクター実践講座	富士山の世界遺産と国立公園の管理・まとめ	三島市民活動センター	24
12	31	水	そばづくり隊	年越しそばうち教室	Via701	30
1	10	土	そばづくり隊	「三島そば」お披露目試食会	Via701	40
1	12	月	富士山湧水子ども守り隊	三島は水のうらどおり~湧水地をめぐる~	三島市民活動センター	16
1	13	火	ニューターリス創出・流通促進事業	「水の山・富士山」幻の湧水探検ウォーク	御殿場市、三島市等	50

## 視察に訪れたみなさん H20.10 ~ H21.1

月	日	団体名	人数	住所	月	日	団体名	人数	住所
10	17	里の自然を守る会	12	愛知	11	22	韓国ナショナルトラスト(25日)	6	韓国
10	17	JICA 森林プロジェクト フィリピン環境天然資源省	6	フィリピン	11	22	千葉県庁 ハノイ市水環境改善理解促進事業	6	ベトナム
11	12	富士見町景観推進協議会	15	長野	12	22	英国GWブラックカントリー	7	英国
11	15	花曜会	19	東京	12	28	山梨県立大学熊谷ゼミ	20	東京
11	18	全土連全国土地改良事業団体連合会(~19日)	40	東京	1	14	三木町町議会議員	4	香川

## < 定例作業 >

三島梅花藻の里作業	31回
鏡池作業	3回
源兵衛川作業(冬期休止)	1回
沢地グローバルガーデン	4回

## < 定例会 >

インストラクター会議	3回
スタッフ会議	3回

## グラウンドワーク三島 ボランティアニュース37号編集室

岸野和子 城所但帝 小松幸子 斎藤彩子 坂井良重 本田充子 前田充子 水野幾子 村澤圭 山崎多紀子(50音順)

(GW三島事務局 担当: 松田幸江)